

村ノ東北ニアリ。峯尾トモ云。東南山家村。此村ニテ
 西北阿志岐村。此村ニテハ。二畝ヘリ。山麓本村ヨ
 リ絶頂ハ十五町。險阻松五ナリ。藤塩草六両山ヲ筑前
 ニアリト云。此山アルヘシ古歌アリ。
 草塩 兩山ノアタリノ雲ハウチツケニ
 クモソテノニリ見ヘ渡リケレ
 ○河渠
 寶満川
 北阿志岐村東ヨリ流來ル村ノ西ヲ過テ半嶋常松兩
 村東ニハ。長二百二十五間。幅十九間。平水六寸。満水

六尺。
 ○岩石
 童男州女松繫石
 本村高木神社ノ上三町許山上ニアリ。大岩二箇アリ
 上ニモ岩重レリ。上ノ岩高二間。幅一間。厚四尺。下ノ
 岩高二間。幅一間餘。厚四尺。上ニ重レルハ三尺四面許
 了。此二石ヲ松繫石ト云。其外ニモ岩多ク又大岩ノ
 下十二間許。屈船ト云。舟ニ似タル石アリシカ。近年
 切取テ今ハナク。岩ハ上下共ニ西ニ向ヘリ。此岩アル
 所ニ里民ハ童男州女岩ト云。由来明ナラズ。觀撰ノ東

官道側ノ小山ニ金剛城ト云所アリ。土ニ塩氣ヲ含ム
 是古ヘ海邊ナリシ故ナリト言傳フルノニ。貝原篤信
 女ハ。奈徐福カ達某ニ深シ。時舟ニ東ニ東リ。男女ノ
 童ノ事アリ。童男州女岩ト云所。筑後國上妻郡河崎ノ
 里ニモ丹後ノ海邊ニモアリ。櫻
 二附會レテ名ツケシナラズ
 ○神社
 村高木神社。本殿一間四面。渡殿一間四面。拜
 殿二間。入二間。石鳥居一間。基
 社地九十坪。氏
 子四十三人。
 本村ノ内大行事森ニアリ。祭神。高皇產靈尊。祭日。九月
 廿五日。慶寶八年庚申。五月初テ建立ス。社地ニ鈴掛岩
 了。不程四尺形六角ニテ。龜甲ニ似タル。村西ノ田字
 不老給ト云アリ。此田ノ中ニ一間四面許。高十

ラ存セリ。發掘岩。此所ニアリ。社地ニ持來レ
 リ。此岩ノ上ニ鈴掛岩ト云。此名アリト云ヘリ。攝
 社。地緑田神社。觀撰ノ東ニアリ。從前此所ノ産神ト
 九平丈ト云
 者勸語ス。
 小社一所
 管原神社。本村貞觀ノ
 天神ト云
 ○佛寺
 西方寺。本堂五間四面。寺地四畝ニ
 十四。檀家百三十二戸。
 本村ニ在リ。天龍山無量院ト稱ス。淨土宗。鎮西派。中本
 山那珂郡住吉村妙圓寺末ナリ。寺記ニ安徳天皇。西海
 ニ趣キ。太宰府ヲ落玉ノ時。小松氏丹波尊ヲ持下リ。残

シ置レシ。其後當國ノ國司ヨリ。堂宇ヲ建立シテ。崇
 重セウ。應安元年。大鳥居信商水田ニ館ヲ立。兩筑西
 肥豊後五國ノ内。天満宮神料數千町ノ司トシテ。成ラ
 振。其子信辨ハ宰府ニアリ。永和元年春。筑前肥前ノ
 守護少貳冬資カ時。天神山ノ木ヲ伐出。信辨カ侍共
 是ヲ怒ラ打捕ル。少貳聞テ大ニ怒リ。大軍ヲ率テ寄來
 社僧社人等。數百人防戰ストイヘ。大軍ニ打負テ
 信辨生害シ。其子龜松丸乳母妙蓮尼ノ懐ニ入り。筑後
 國水田庄ニ落行シ。後ヨリ少貳ノ軍兵百騎ハカリ。
 追來リケレ。天山ヘ逃レ入り。阿彌陀堂ノ下ニ隠レテ。

一命ヲ助レリ。故ニ應安七年。龜松丸。大鳥居家相續ノ時。
 水田庄ニ請受テ。代々ノ守本尊トス。後國始院ノ年号
 ニ。信辨。永和ニ出。應安ニ歸ルヘキ。理ナリ。九ノ
 寺記等。此類ナリ。明治二年巳巳十月。水田庄ヨリ。本寺
 ニ歸シ移ス。永祿年中。念譽行明中興。關山夕リト云。統
 ニ。白鳳元年。法相宗。利生上人。經始。繁榮ノ巨利ナリ。中
 世ノ騷亂ニ災。上ノ其後。幾地セシ。文祿年中。淨土宗
 行明再興。此寺ヨリ。痘瘡平愈ノ符ヲ出ス。寺地ニ觀音
 堂。大日堂。鐘樓等アリ。
 ○古蹟
 不老給

村ノ南一町許ノ田字ニアリ。此村ニ不老氏アリテ。近
 年マテ高木神社ノ神官クリシ。今ハ學府村ニ移リ
 住リ。不老父支ト云。其家ニ鐵鈴ニ數十ヲ秘藏ス。昔日
 不老給ノ大石。上ニ鐵鈴アリ。不老氏ノ祖先。收網レテ
 子孫ニ傳ヘ。的然ト存ス。大石ハ。後々産神社前ニ移セ
 且家書傳記等アリ。總テ天正年間ノ兵火ニ。鳥有ニ
 屬ス。青柳種。古太宰府ノ所。不老ハ。府老ヲ云タルヘシ。殘
 柴田城址
 村ノ南一町ニアリ。城ノ腰ト云。平地五段餘。西南ニ長ク。東
 北ハ短ク。鎮西要略ニ。南朝文中元年。北朝。應安八月十日

夜筑前尼山城。沒落。今川貞世。及小貳頼安。冬資等。大軍
 攻太宰府不進。是ヨリ。志。是德元年。將軍。管太宰府ニ下
 在シ。菊池武政。將健兵數千來而。捕討今川小貳。今川引
 退肥前トアル。此柴田城ノ事カ。又ハ蘆城村ノ天城
 ノ事ライエ。ルカ。官軍ノ砦城ナルヘシ。其後當城。筑紫
 廣門ノ端城ニシテ。村山近江。其子彈正。在城セリ。天正
 六年。戊寅。秋。秋月種實。其勢ニ強大ニ成テ。近邊ナレハ。
 先岩屋ヲ攻。リ。ヨリ立花表ヘ動ニトテ。肥前ノ浪人
 綾部駿河守。家臣ニ。内田善兵衛。横田。贖岐。上野。四
 郎。右衛門。本野。刑部。立。先手トシテ。四千餘人。柴田川